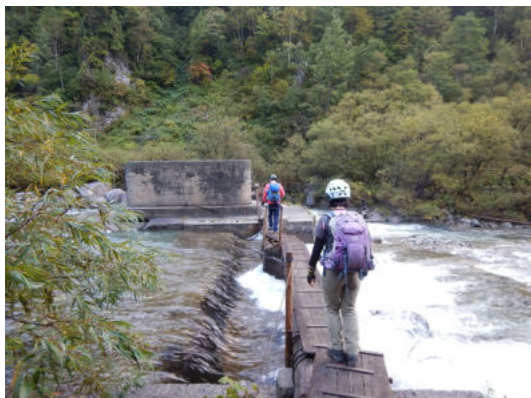


日程 令和元年 10月4日～10月6日 (北ア) 黒部溪谷 下ノ廊下

10/4 竹橋＝ 10/5 扇沢＝黒部ダム－内蔵助谷出合－十字教広場－関電人見平宿舎－升阿曾原温泉小屋(泊)

10/6 大太鼓－樺平＝宇奈月温泉駅＝黒部宇奈月温泉駅＝東京駅



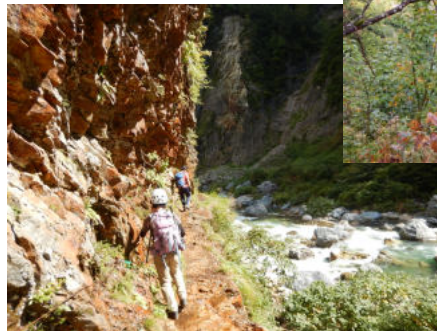
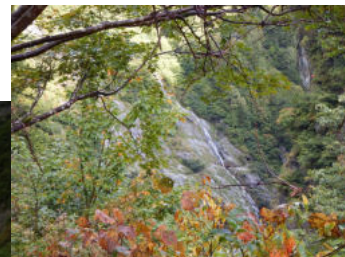
10/5

撮影者 笠原

←01 黒部ダムから

扇沢から始発のトロリーバスに乗り継いで黒部ダムへ。

雪解け状況によって開通期間が毎年変わる下ノ廊下のロングコースの始まりです。



02 紅葉はまだ→

黒部溪谷と紅葉の美しいコントラストを期待しましたが、紅葉はまだ10日～14日先と言ったところ。



←03 左側崖溪谷は稀

本当に奥深いところに来たんだとそのスケールの大きさを感じつつ、溪谷の美しさを楽しむのも緊張する歩道の細さと高さです。



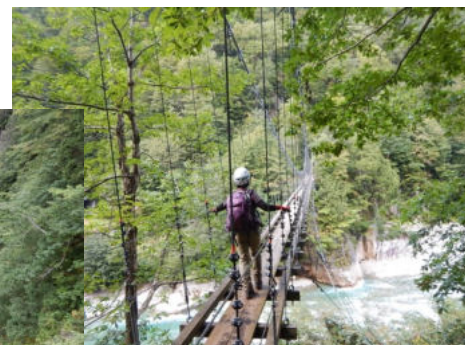
04 針金番線を手がかりに→

危険な箇所は丸太橋や針金番線が設置してある。雪解けを待って整備され、その管理の大変さから廃道になるのでは？という噂も。



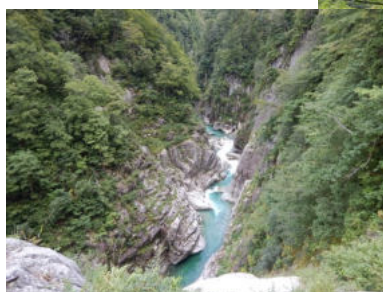
←05 白竜峡あたり

番線が無い箇所は慎重に。この先でウォーウォーと鳴き声がし、親グマと逸れたらしく鳴き叫ぶツキノワグマの子熊に遭遇。姿が見えなくなったところを見計らって通過。



06 東谷吊橋→

十字峡広場で休憩し、さらに半月峡やS字峡を抜けて、高度感満載の東谷吊橋を渡り対岸へ。ここから仙人ダムへは車道？歩きとなる。





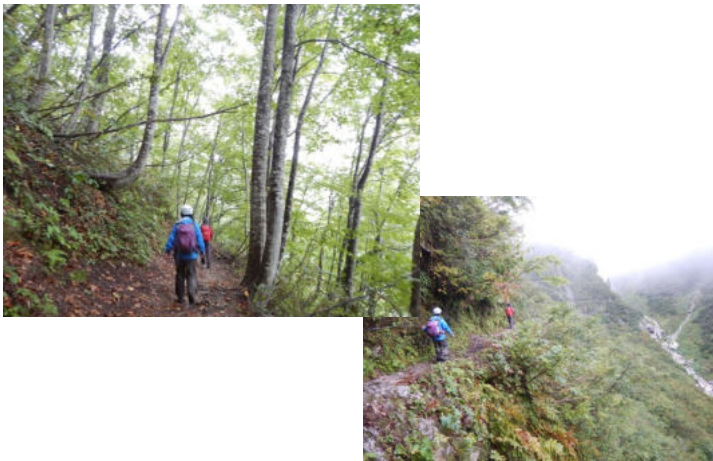
←07 高熱隧道を通り抜け

岩盤温度 160 度という高熱帯を掘ったと言う痕跡を感じる高熱隧道を通り抜け。 Lは大人のアスレチックコースと言っていたのですが、崖、トンネル、滝、吊橋、丸太橋・・・本当にこのコースは作った方々は勿論、整備&管理して下さいの方々にも感謝しながら通らせて頂くと言った感じです。

10/6

08 阿曾原温泉小屋→

昨晚はシンガリ到着で、到着後はゆっくりする間も無く追われるようにお風呂&夕食。 二日目の朝は、雨の中の出発。



←09 水平歩道 1

山肌に一本の細い線を引いたような歩行コースが対岸にみえ、本当に水平歩行という名前の通りだと実感。

10 水平歩道 2 →

「黒部に怪我なし」(落ちたら怪我では済まない)と言われる溪谷の切り立った感昨日ほどでは無いにしろ、まだまだ滝越えや番線を頼りに歩く箇所も多数。 ただ歩くだけでも緊張を強いられるこの歩行ルート of 整備の苦勞を考えると本当に頭が下がります。



←11 樺平

無事に樺平へと抜けて完歩。
長い長い水平歩道・歩行でした。
・・・そして達成感もつかの間
またぎゅうぎゅうのタイムスケジュールに追われ、鳥の行水でトロッコ列車に乗り込むのでした。